PART2 2つのR

Chapter1 ルネサンス

目標
ルネサンスを支えた思想について学ぼう。
ルネサンスの限界について理解しよう。

1 ルネサンスとは

①［　　　　　　　　　　］**〔文芸復興〕**とは

A ［　　　　］**～16 世紀**に展開

［　　　　　　　　］の諸都市の発展を背景とする文化運動

※ 16 世紀にネーデルラントをはじめヨーロッパ各地に広まる。

B **ローマ＝カトリック教会**の権威の下にあった中世文化を引き継ぐ

C ［　　　　　　　　　　　　　　］**〔人文主義〕**

現世に生きる人間性の自由・解放を求め各人の個性を尊重

※理性・感動の活動を重視し，**ビザンツ帝国**や［　　　　　　　　　　］**世界**を通じて伝えられた［　　　　　　　　］・**ローマの古典文化**を模範とする。

②権力者の保護

A イタリア

フィレンツェの［　　　　　　　　］**家**，ミラノ公，教皇〔法王〕など

B イギリス・フランス・スペイン

国王たち

C 貴族的性格を帯び**既存体制の批判力は弱い**

③［　　　　　　　　　　　　］→フィレンツェの政治家・思想家

イタリア統一の必要性とその方策を説く『**君主論**』で政治を宗教・道徳から切り離す

※のちマキャヴェリズム〔権謀術数主義〕という言葉が生まれる。

2　ルネサンスの文芸

①**イタリア**

ダンテ『〔　　　　〕』，ペトラルカ『叙情詩集〔カンツォニエーレ〕』，**ボッカチオ『デカメロン』**，ピコ＝デラ＝ミランドラ『人間の尊厳について』など

②イギリス

チョーサー『カンタベリ物語』，トマス＝モア『ユートピア』，

〔　　　　　　　　　　　〕**『ヴェニスの商人』『ハムレット』**など

③ネーデルラント

エラスムス『愚神礼賛』など

④スペイン

セルバンテス『ドン＝キホーテ』など

アテネの学堂

3　ルネサンスの美術

①**イタリア**→遠近法の確立（写実主義へ）

A　ブラマンテによるルネサンス様式のサン＝ピエトロ大聖堂

B　〔　　　　　　　　　　　〕**『春』『ヴィーナスの誕生』**

C　**レオナルド＝ダ＝ヴィンチ『最後の**〔　　　　〕**』『モナ＝リザ』**

　さまざまな分野で活躍した「**万能人〔普遍人〕**」の典型

D　〔　　　　　　　　　　　〕**『最後の**〔　　　　〕**』『ダヴィデ像』**

E　〔　　　　　　　　〕**『アテネの学堂』**や多数の聖母子像

②ネーデルラント→フランドル派

A　ファン＝アイク兄弟

B　ブリューゲル『農民の踊り』

③ドイツ

デューラーの絵画や版画

まとめ　ルネサンスを支えたのは，ヒューマニズム〔人文主義・人間主義〕である。
ルネサンスは権力者の保護を受けたので，体制批判がしにくかった。

Chapter2　宗教改革と対抗宗教改革

目標
16 世紀の西ヨーロッパで起こったキリスト教の変化を知ろう。
16 世紀には，宗教意識は高まったのか低下したのかどちらだろう？

1　ルターによる宗教改革の開始

①**マルティン＝**〔　　　　　　〕による〔　　　　　　　〕の開始（**1517 年**）
　贖宥状〔免罪符〕を売り出すカトリック教会の腐敗への批判
　※「ローマの牝牛」と呼ばれ教皇から搾取されていた〔　　　　　〕のヴィッテンベルクで『**九十五カ条の論題**』を発表。
②**教皇レオ 10 世**による破門と**神聖ローマ皇帝カール５世**からの呼び出し（1521 年）
　ルターは自説を撤回せず『新約聖書』のドイツ語訳を完成
③ミュンツァーが指導するドイツ農民戦争（1524～25 年）
　当初は同情的だったルターはこれを弾圧する諸侯の側につく
　※ルターの教えを採用したザクセン選帝侯らの諸侯は，カトリックの権威から離れる。
④シュマルカルデン戦争（1546～47 年）
　カトリック〔旧教徒〕と〔　　　　　　　　　　　〕**〔新教徒〕**との争い
　※カール５世とシュマルカルデン同盟を結ぶ諸侯との争い。
⑤**アウクスブルクの和議**（1555 年）
　その後**ルター派**はドイツから北欧にも広がる
　※デンマーク，ノルウェー，スウェーデンなど。

2　カルヴァンと宗教改革の広がり

①**フランス**の〔　　　　　　　　　〕によるジュネーヴでの宗教改革
　「予定説」を説き長老主義を採用して一種の神権政治を行う
　※スイスではこれに先駆け，ツヴィングリによるチューリヒでの宗教改革があった。
②**カルヴァン派**の広がり（16 世紀後半）
　フランス（〔　　　　　　　〕），ネーデルラント（ゴイセン），スコットランド（プレスビテリアン），イングランド（〔　　　　　　　　　　〕）など
　※（　）内は現地でのカルヴァン派の呼称。

③［　　　　　　　　　］国王**ヘンリ８世**による宗教改革

首長法〔国王至上法〕によりカトリック世界から離脱（1534 年）

④**エリザベス１世**による確立

統一法によりイギリス独自の教会体制が最終的に確立（1559 年）

※［　　　　　　　　　　　　　］は司教制を維持するなどカトリックに似ていたため，カルヴァン派＝ピューリタン〔清教徒〕たちはこれに反発した。

3　カトリック教会による対抗宗教改革

①［　　　　］**宗教改革〔反宗教改革〕**

カトリック教会による教義の明確化と内部革新による勢力の立て直し

※南ヨーロッパへのプロテスタンティズム〔新教〕の進出を阻む。

※カトリシズム〔旧教〕のほうが資金力と組織力は優れていた。

②［　　　　　　　　　　］**公会議**（1545～63 年）→イタリアで３会期に分け開かれる

教皇の至上権再確認とカトリック教会腐敗の防止

※禁書目録を作り宗教裁判所を強化して思想統制も行う。

③［　　　　　　　　　　］の結成（1534 年）

イグナティウス＝ロヨラが**フランシスコ＝**［　　　　　　　　　］らとパリで結成

※教皇の許可を受けて布教と教育に力を入れ，新大陸やアジアなど［　　　　　　　　］も進める。

4　宗教改革・対抗宗教改革の結果

①西ヨーロッパで**宗教意識が高まった**

※人々の生活をキリスト教がより強く律するようになった。

②西ヨーロッパ各地で宗教対立や**宗教戦争**が起こる

③社会的緊張が高まり「［　　　　　　　　］」が盛んに行われた

魔女狩り

まとめ　宗教改革で旧教〔カトリック〕と新教〔プロテスタント〕にわかれた。
宗教改革や対抗宗教改革を通じ，16 世紀には宗教意識が高まった。

第 0 講　PART2　確認問題

1 14～16世紀に，イタリアからヨーロッパ各地に広まった，古代ギリシアやローマの古典文化を模範とし，現世に生きる人間性の自由や解放を求め，各人の個性を尊重する文化運動は何か。

① 宗教改革　② ルネサンス
③ 世界の一体化　④ 商業革命

2 マキャベリが著した書物はどれか。

① 『デカメロン』　② 『君主論』
③ 『愚神礼讃』　④ 『神曲』

3 『ヴェニスの商人』や『ハムレット』など，多くの戯曲を残したイギリスの作家はだれか。

① シェークスピア　② ダンテ
③ トマス＝モア　④ セルバンテス

4 14～16世紀に活躍した人物として，**あてはまらないもの**はどれか。

① レオナルド＝ダ＝ヴィンチ　② ボッティチェリ
③ タキトゥス　④ ミケランジェロ

5 ラファエロが描いた作品はどれか。

① 『アテネの学堂』　② 『モナ＝リザ』
③ 『春』　④ 『最後の審判』

6 1517年，ドイツでカトリック教会の腐敗を批判し，宗教改革を始めた人物は，だれか。

① ミュンツァー　② カール５世
③ ルター　④ カルヴァン

7 カルヴァン派は，フランスでは何と呼ばれていたか。

① ゴイセン　② プレスビテリアン
③ ピューリタン〔清教徒〕　④ ユグノー

8 イギリスで宗教改革を始め，イギリス国教会を確立した人物はだれか。

① ヘンリ８世　② エリザベス１世
③ エドワード３世　④ ヘンリ７世

9 1545～1563年，教皇の至上権を再確認し，カトリック教会の腐敗防止をはかった公会議が開かれた都市はどこか。

① エフェソス　② ニケーア
③ トリエント　④ カルケドン

10 イエズス会の結成に携わった人物はだれか。

① ツヴィングリ　② フランシスコ＝ザビエル
③ レオ10世　④ チョーサー

第0講　PART2　確認問題　解答

1 解答：②

ルネサンス〔文芸復興〕は，イタリアの諸都市の発展を背景とした文化運動で，ヒューマニズム〔人文主義〕を重視し，古代ギリシア・ローマの文化を模範とした。

①：カトリック世界の信仰と教会制度の大改革。
③：大航海時代以降，世界各地の地域世界が結びつきを強めたこと。
④：大航海時代以降の，ヨーロッパの貿易構造の変化。

2 解答：②

マキャベリは,『君主論』で,イタリア統一の必要性やその方策を主張した。『君主論』は近代政治学の祖とされる。

①：ボッカチオが著した。
③：エラスムスが著した。
④：ダンテが著した。

3 解答：①

シェークスピアはイギリス最大の劇作家で,ほかに『オセロ』や『リア王』『マクベス』などを著した。

②：イタリアの詩人である。
③：イギリスの政治家・人文主義者である。
④：『ドン＝キホーテ』を著した，スペインの作家である。

4 解答：③

タキトゥスは,古代ローマの歴史家で,『年代記』や『ゲルマニア』を著した。

①：「万能の天才」と呼ばれる人物で，『モナ＝リザ』などを描いた。
②：『春』や『ヴィーナスの誕生』を描いた画家。
④：『ダヴィデ像』や『最後の審判』などを制作した人物。

5 解答：①

ラファエロは，ルネサンス期に活躍したイタリアの画家で，『アテネの学堂』のほか，多くの聖母子像を残した。

②：レオナルド＝ダ＝ヴィンチが描いた。
③：ボッティチェリが描いた。
④：ミケランジェロが描いた。

6 解答：③

マルティン＝ルターは，1517 年，カトリック教会の贖宥状〔免罪符〕の販売を批判し，宗教改革を始めた。ルター派など，カトリック教会から分離した宗派を，まとめてプロテスタントと呼ぶ。

①：ドイツの宗教改革者で，ドイツ農民戦争を指導した。
②：ルターをヴォルムス帝国議会に召喚した，神聖ローマ帝国の皇帝。
④：スイスで宗教改革を始めた，フランス出身の宗教改革者。

7 解答：④

カルヴァン派は，16 世紀後半にはフランスの他ネーデルラント，スコットランド，イングランドなどに広まった。

①：ネーデルラント（オランダ）での呼称。
②：スコットランドでの呼称。
③：イングランドでの呼称。

8 解答：①

ヘンリ８世は，離婚を認めない教皇と対立し，国王至上法〔首長法〕を制定して，イギリス国王をイギリス国教会の最高の首長と定めた。これにより，イングランドの教会は，カトリックから分離した。

②：統一法によって，イギリス国教会を確立した女王。
③：百年戦争を起こした国王。
④：テューダー朝初代国王で，バラ戦争をおさめた。

9 解答：③

宗教改革が進展すると，カトリック教会は，教義の明確化などを通じて宗教改革に対抗しようとした。この動きを対抗宗教改革（反宗教改革）という。

①：431 年に公会議が開かれた都市。
②：325 年に公会議が開かれた都市。
④：451 年に公会議が開かれた都市。

10 解答：②

フランシスコ＝ザビエルは，イグナティウス＝ロヨラらとともに，教皇の命を受けて，イエズス会を結成し，海外への積極的な布教活動を行った。フランシスコ＝ザビエルは，1549 年に日本に来航した。

①：スイスのチューリヒで宗教改革を行った人物。
③：贖宥状〔免罪符〕を売り出していた教皇。
④：『カンタベリ物語』を著したイギリスの作家。